

お客様各位

第一プレミア証券株式会社

先物・オプション取引の証拠金計算方法の変更について

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2023年11月6日（月）より、大阪取引所における先物・オプション取引の証拠金額は、現行の「SPAN®方式」から新証拠金計算方式である「VaR方式※」で算出された証拠金額を基準に設定されることが日本証券クリアリング機構（JSCC）より発表されております。

VaR方式には、流動性やヒストリカルデータの有無等の商品特性に応じて、「AS-VaR方式」と「HS-VaR方式」があります。

※VaR方式の詳細は[株式会社日本証券クリアリング機構（JSCC）ホームページ](#)にてご確認くださいませ。



VaR方式移行後の当社の対応

【商品関連市場デリバティブ取引銘柄】

AS-VaR方式を採用します。現行の運用と比して大きな変更はございません。

【株価指数先物取引銘柄】

HS-VaR方式に準じ、毎週最終営業日に公表される証拠金を基とした必要証拠金を算出します。売買の別や限月による証拠金額の差異はございません。更新頻度についても現行と同様です。

VaR方式移行後

変更点	現行（SPAN®方式）	商品関連市場 デリバティブ取引銘柄 （AS-VaR方式）	株価指数先物取引銘柄 （HS-VaR方式に準じる）
売りと買いの 証拠金額の違い	売りと買いで同じ金額	売りと買いで同じ金額	売りと買いで同一になる 金額を算出
限月ごとの 証拠金額の違い	どの限月も同じ金額	どの限月も同じ金額	どの限月も同一になる 金額を算出
証拠金額の 公表頻度	毎週最終営業日 18 時頃 公表	毎週最終営業日 18 時頃公表	
新証拠金の反映 タイミング	翌週第一営業日の日中立 合終了後より	<u>毎週土曜日 AM8:00</u>	翌週第一営業日の 日中立合終了後より

<ご注意>

- ・11月6日(月)は、新証拠金計算方式「VaR方式」の適用に伴い、必要証拠金額が大きく変動する可能性がございます。予め余裕をもってお取引して頂くことをお勧めいたします。
- ・口座状況により不足金が発生する場合がございます。不足金が発生した場合は、入金による解消が必要になります
- ・必要証拠金は、原則週1回更新になりますが、臨時変更が行われることもございます。

ご不明な点がございましたら、以下【本件お問合せ先】までご連絡ください。
今後とも、皆さまに安心してご利用いただける証券会社を目指し、役職員一丸となって取り組んでまいりますので、変わらぬご愛顧をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【本件お問合せ先】 弊社営業担当者
業務部 (03-6778-8700)

<注 釈 >

VaR方式の概要

VaR方式では、ヒストリカルデータから計算される想定損失が99%カバーできる水準を証拠金とします。過去5年、1250日における1250個のヒストリカルシナリオ(1つの価格変動から1つの想定シナリオを作成)に加え、ストレス日(市場に大きな変動が生じた日)ベースシナリオ等も考慮しています。

AS-VaR方式とHS-VaR方式、及び当社の対応

流動性やヒストリカルデータの有無等の商品特性に応じて、「ヒストリカル・シミュレーション方式(HS-VaR方式)」か「代替的方式(AS-VaR方式)」が採用されます。

AS-VaR方式は、SPAN方式のように、リスクファクターの変動幅と方向(上昇・不変・下落)を予め組み合わせたシナリオを適用します。リスクファクター情報は原則週次で更新されるため、AS-VaR証拠金額は、通常毎週最終営業日に更新されます。

当社商品では、商品関連市場デリバティブ取引が該当し、必要証拠金額は原則毎週最終営業日に公表し、システムへの反映は毎週土曜日8時に行います。

HS-VaR方式は、商品リスクファクター(価格、IV、金利等の変動要素)の過去データに基づいて生成したシナリオから、売り買い、また限月により異なる証拠金額が日次で計算されます。

当社商品では、株価指数先物取引銘柄が該当し、毎週最終営業日に発表されたHS-VaR証拠金額の平均値(同一商品)の1.1倍を必要証拠金といたします。売り買いや限月による違いはなく、必要証拠金額は原則毎週最終営業日に公表し、システムへの反映は翌週第一営業日の日中立合終了後に行います。なお、算出された必要証拠金額が、次回公表日までにおいて、HS-VaR証拠金額を下回った場合は、そのHS-VaR証拠金額の平均値(同一商品)の1.1倍を必要証拠金とします。

(参考:株式会社日本クリアリング機構,「先物・オプション取引への新証拠金計算方式(VaR方式)の導入に関する対応概要」,2023年3月)